

施設園芸のアジア展開のための技術開発戦略

2025年12月19日(金) 10時～17時 (受付9時30分)

TKPガーデンシティPREMIUM京橋 ANNEX ホールC

※対面のみ(オンライン開催は致しません)

会場アクセス



日本の高度な施設園芸技術をアジア地域へ展開し、現地の食料増産、品質向上、環境負荷低減に貢献するための具体的な技術開発およびビジネス戦略について紹介します。アジアの多様な気候風土や市場ニーズに対応するため、環境制御、省エネルギー、耐病性品種、スマート農業技術(AI・IoT活用)などの分野で、日本の強みを活かしつつ現地適合性を高める技術開発の方向性を議論します。

【10:00～11:30】第一部:東南アジア展開のための技術開発戦略

【講演者】農研機構野菜花き研究部門 東出 忠桐
農研機構野菜花き研究部門 佐々木 克友

【パネルディスカッション】

千葉大学 園芸学研究院 中野 明正 渡辺パイプ 田口 昌義
日本施設園芸協会 藤村 博志

【13:00～14:15】第二部:技術展開のためのデータ規格等の標準化

【講演者】農研機構野菜花き研究部門 菅野 圭一
農研機構知的財産部 岡本 秀樹

【パネルディスカッション】

農林水産省大臣官房政策課 光廣 政男
岡山大学農学部 安場 健一郎 PLANT DATA 北川 寛人

【14:30～15:45】第三部:東南アジアにおける技術展開の事例と将来

【講演者】ニイヌマトモファーム 箕輪 祐耶
農研機構野菜花き研究部門 磯崎 真英

【パネルディスカッション】

トヨタ自動車 岡島 博司 NTTアグリテクノロジー 小林 弘高
OATアグリオ 岡 准慈

【16:00～17:00】総合討論

コンビナー 農研機構 野菜花き研究部門 東出 忠桐



【参加申し込み方法】左記QRコードを読み取り指定のフォームから登録ください

先着順で、定員 300 名になり次第、締め切らせていただきます(参加費無料)。

<事務局> 農研機構 野菜花き研究部門 施設生産システム研究領域

TEL:029-838-8681 E-mail:PF-training@ml.affrc.go.jp

情報交換会 (シンポジウム終了後、有料にて開催します。)

参加費¥7,000円、17:15～19:00 同会場ホールB 定員 80 名

<主催> ■農研機構 野菜花き研究部門 ■「スマート農業実証プロジェクト」露地野菜・花きおよび施設園芸体系

<協賛> ■(一社)日本施設園芸協会